

研究紀要

第114号

特別な教育的ニーズにこたえる 学習指導の在り方に関する研究

- 第1章 特別な教育的ニーズにこたえる学習指導
- 第2章 特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の現状と課題
- 第3章 特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の基本的な考え方
- 第4章 特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の実際
- 第5章 実践例
- 第6章 まとめと今後の課題

平成22年3月

鹿児島県総合教育センター

序

鹿児島県総合教育センター
所 長 瀬戸上 護

平成20年3月の新学習指導要領の告示（特別支援学校は平成21年3月）を受け、小学校や中学校、特別支援学校の小・中学部では共に平成21年4月から移行期間となり、既に一部の内容は先行して実施されています。各学校においては、新学習指導要領の改訂の趣旨等を踏まえ、「生きる力」の育成を目指した教育に引き続き取り組むことになりました。

このような時期に、当教育センターでは、「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」を研究主題に掲げ、平成20年度から2年間調査研究を進めてきました。昨年度は、児童生徒の生きる力の育成には学校の教育力の向上が必要であると考え、学校組織の活性化、教育課程の充実、授業の充実、学校評価の四つの視点から取り組むべき方向性を示しました。今年度は、児童生徒に生きる力を確かにはぐくむためには、子どもたちに直接かかわり教育実践を行う教員の資質の向上に取り組むべきと考えました。その指導力を高めるために、学習指導力、生徒指導力、職務遂行力、コミュニケーション力の四つの力を伸長することが重要と考え、当教育センター各課において調査研究を進めてきました。

特別な教育的ニーズのある児童生徒の教育の推進についても、教員の意識の改革と資質の向上は不可欠であり、教員の専門性を高める必要があります。特に、小・中学校の新学習指導要領においては教育課程実施上の配慮事項に「指導についての計画や関係機関と連携した支援のための計画を個別に作成し、個々の児童生徒に障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと」が新たに規定され、個に応じた指導の重要性が明記されました。しかも、各学校において特別支援教育の支援体制が整備されてきた現状を考えますと、的確な実態把握に基づく日々の授業実践が小・中学校等における新たな課題といえます。また、特別支援学校では「障害の重度・重複化、多様化への対応」や「一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援の充実」が新学習指導要領の改訂の方針といえます。このため、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズにこたえるには、個々の実態に応じたきめ細かな指導の充実が望まれます。

これまで特別支援教育研修課では、特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒への本県における支援の現状や地域全体で取り組む支援体制の在り方について調査研究を行い、小・中学校等や特別支援学校、教育行政機関などを含め、地域全体で取り組む支援体制の在り方を具体的な指導・支援の実践例としてまとめてきました。

平成20年度からは「特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の在り方に関する研究」を研究主題に掲げ、小・中学校や特別支援学校では各学校や通常の学級における特別支援教育の推進状況、高等学校では、特別な教育的ニーズのある生徒への支援体制に関する実態調査を行いました。さらに、通常の学級に在籍する学習上又は生活上で特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する一斉指導における具体的な指導・支援の在り方に視点を当て研究に取り組んできました。この中で、個に応じた指導をより充実するためにアセスメントシート（試案）を活用した方法も提案しております。

本研究の成果が、特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する学習指導の改善になるとともに、児童生徒一人一人の発達段階を考慮した教育の充実に寄与することを期待いたします。

平成22年3月

目 次

第1章	特別な教育的ニーズにこたえる学習指導	
1	特別支援教育の動向と新たな課題	1
2	特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の研究	1
3	研究の目的	1
第2章	特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の現状と課題	
1	実態調査の概要	2
2	各学校における現状と課題	2
(1)	小・中学校	2
(2)	高等学校	3
(3)	特別支援学校	5
3	実態調査のまとめと考察	6
(1)	実態把握	7
(2)	具体的な指導・支援	7
(3)	評価	7
(4)	連携	7
第3章	特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の基本的な考え方	
1	基本的な考え方	8
(1)	すべての児童生徒に分かりやすい学習指導の工夫	8
(2)	学び方の違いに配慮した指導・支援	9
2	授業改善につながる学習指導の評価	11
(1)	学級全体に対する評価	11
(2)	対象の児童生徒に対する評価	12
3	チームや連携に基づく学習指導	12
第4章	特別な教育的ニーズにこたえる学習指導の実際	
1	すべての児童生徒に分かりやすい学習指導の工夫	13
(1)	学習に対する見通しをもたせる工夫	13
(2)	分かりやすい言葉掛けの工夫	13
(3)	学習環境の配慮・工夫	13
2	学び方の違いに配慮した指導・支援	14
(1)	アセスメントシート(試案)を活用した実態把握	14
(2)	アセスメントシート(試案)を活用した指導・支援の検討	18
3	授業改善につながる学習指導の評価	21
(1)	学級全体に対する評価	21
(2)	対象の児童生徒に対する評価	22
第5章	実践例	
○	小学校における取組	23
○	中学校における取組	29
○	高等学校における取組	35
○	特別支援学校における取組	39
第6章	まとめと今後の課題	
1	本研究のまとめ	43
(1)	アセスメントの実際	43
(2)	学び方の違いを踏まえた具体的な指導・支援	43
(3)	授業改善につながる学習指導の評価	43
(4)	チームや連携に基づく学習指導の在り方	43
2	今後の課題	43
引用・参考文献	調査研究担当者 調査研究協力者	44
おわりに		45